

令和6年能登半島地震 港湾の復旧・復興のあゆみ

輪島港の復旧・復興に向けて

輪島港では今回の地震により、物揚場などの施設が被災したほか、地盤の隆起による漁船の座礁などにより、約200隻の漁船が身動きが取れなくなる事態が発生しました。

そこで、漁船が移動できるように、国や県が連携して、浚渫や仮棧橋設置等の応急工事を7月までに完了させており、引き続き、本復旧に向けた浚渫を行っています。

今後も、早期の復旧・復興に向け、関係機関と連携し、全力で取り組んでいきます。

輪島港の被災状況



地盤隆起（約1m程度）



地盤隆起（漁船との段差）



地盤隆起による漁船の座礁



地盤隆起による漁船の座礁



物揚場の損傷



臨港道路の損傷

輪島港の復旧工事の進捗状況

①②③ 段差ができた漁船と物揚場の間に仮棧橋を設置するとともに、船だまりの水深を確保するための航路啓開（浚渫）を実施したことにより、漁船の移動が可能となりました

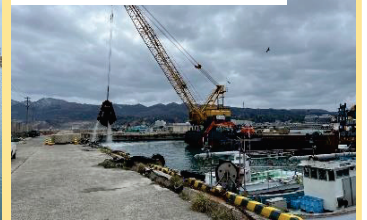
① 仮棧橋設置



② 仮棧橋設置



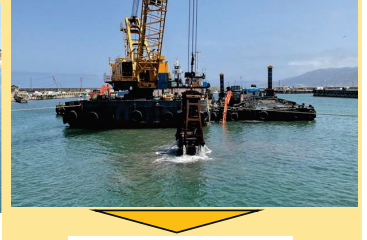
③ 浚渫（輪島崎地区）



4月12日設置完了

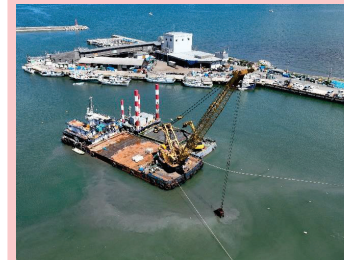


6月26日設置完了



7月23日航路啓開完了

④ 本格復旧に向けて、海士地区の浚渫を進めています（7月～）



県で浚渫工事を
実施中（7月～）

輪島港の復旧工事状況